

2024年7月4日
SB プレイヤーズ株式会社

SB プレイヤーズ、栃木県知事から感謝状を受領

～栃木県立那須拓陽高等学校との農業に関する取り組み～

ソフトバンク株式会社の子会社で行政・地方公共団体向けソリューションを提供する SB プレイヤーズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 兼 CEO：藤井 宏明、以下「当社」）は、県勢振興への貢献に対して、栃木県知事の福田 富一氏より 2024 年 7 月 4 日（木）に感謝状を受領いたしました。



※左より、当社 経営企画部 豊田 憲一、栃木県知事 福田 富一氏、当社 経営企画部 宮内 菜穂子

当社は「情報革命で人々を幸せに～IT で地域社会に活力を～」を経営理念として掲げ、地域社会における価値創造を目指す事業を展開しています。

地域活性化および環境問題の解決に貢献するため、当社では「未来へつなぐ農業プロジェクト」※1 を推進しており、その一環として持続可能な農業の実現や担い手不足の解消を目指し、2023 年 5 月に栃木県立那須拓陽高等学校（以下「那須拓陽高等学校」）と連携協定を締結いたしました。

連携協定の具体的な取り組みとして、当社はテクノロジーを活用した米栽培技術を那須拓陽高等学校に提供し、生産性の向上や作業負荷の軽減を目指した実証実験を実施しています。

2023 年には新たな農業収益の手段を模索するため、那須拓陽高等学校の圃場（約 1ha）で多収米を栽培し、収穫された米をバイオマスプラスチックの原料として出荷いたしました。さらに、農作物の生産によって圃場から排出される温室効果ガスの排出量削減の検証を行うなど、農業の課題解決に向けたさまざまな実証実験に取り組んでまいりました。

当社は実証実験で活用する機材の一部を那須拓陽高等学校に寄贈させていただき、その貢献に対して感謝状を受領いたしました。今後も地域活性化および環境課題の解決に向けて取り組んでまいります。

■※1 未来へつなぐ農業プロジェクトについて



持続可能な農業において社会課題とされている、農業の担い手不足、収益性の向上、環境問題などの解決に向けた当社の取り組みです。

具体的な取り組みとして、ICTを取り入れた栽培管理の手法や多収米品種の栽培により生産性を向上し、作業負荷が少ない農業の確立を目指します。さらに、農業によって排出される温室効果ガスを測定し、排出を抑制する栽培手法を取り入れています。

当社は今後も未来の農業を担う那須拓陽高等学校の皆さんと共に、環境課題や農業を取り巻く課題に対しての解決策を模索し、地域社会の活性化に繋がる取り組みを進めてまいります。

■ SB プレイヤーズ株式会社について

事業子会社を通して公営競技投票券のインターネット販売事業（オッズ・パーク株式会社）、ふるさと納税の一括代行業（株式会社さとふる）や先端施設による農業事業（株式会社たねまき）などのサービスを展開しています。国や地方自治体、地域企業との連携によって革新的なサービスを創出し、地域の活性化に貢献していきます。

SB プレイヤーズ株式会社：<https://www.softbankplayers.co.jp/>

■ 那須拓陽高等学校について

普通科2クラス、農業系学科3クラス（農業経営科・生物工学科・食品化学科）、家庭系学科1クラス（食物文化科）からなる高等学校で、3年次には各科の枠を超えて他学科の科目も学習することができます。先人の開拓魂を受け継いだ不屈・進取の気風の中で、一人ひとりの生徒が明るく伸び伸びと学校生活を送り、それぞれの科の特色を生かしながら「文武両道」を目指し自らの可能性を追求しています。農業経営科では、主に作物・畜産を学び、将来地域農業の中心となって活躍できる人材を育てることを目標としています。

栃木県立那須拓陽高等学校：<https://www.tochigi-edu.ed.jp/nasutakuyo/>

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
 - その他、このプレスリリースに記載されている会社名およびサービス名などは、各社の登録商標または商標です。
 - このプレスリリースに記載されている内容、サービス、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のものです。これらの情報はその後予告なしに変更される場合があります。
-